

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 49 号

第 49 週(12月 3日 ~ 12月 9日)

発行年月日:平成19年(2007年) 12月13日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

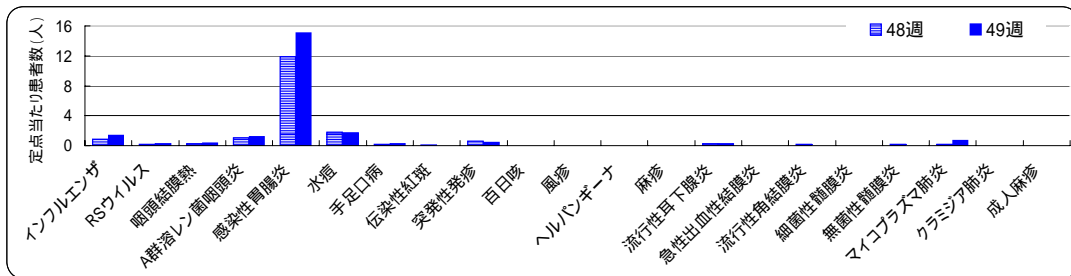
インフルエンザの流行期に突入(滋賀県) 感染性胃腸炎の発生は先週に引き続き急増

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、前週の報告数よりさらに増加しています。特に、インフルエンザおよび感染性胃腸炎で急増しています。また、インフルエンザについては定点当たり患者数が1.38となり流行開始の基準を上回ったため、インフルエンザ流行期になりました。今週はインフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎等多くの疾患で増加しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

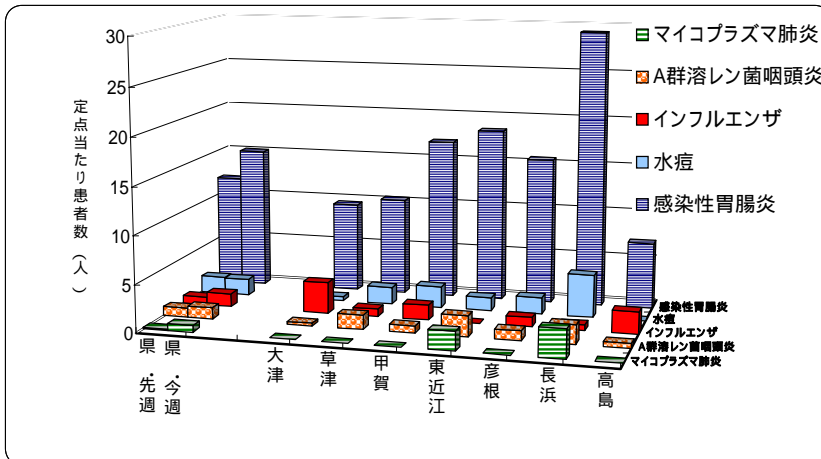
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、咽頭結膜熱(プール熱)では高島に、感染性胃腸炎では長浜に警報が発生しています。また、水痘では長浜に注意報が発生しています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で5名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第49週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、インフルエンザ、A群溶レン菌咽頭炎、マイコプラズマ肺炎の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は先週よりさらに増加し、特に長浜で急増しています。インフルエンザは47週(11/19~11/25)以降、増加傾向となっています。

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定し、その基準値を超えた時に流行発生警報(警報)あるいは流行発生注意報(注意報)という表現により流行状況を示しています。

流行発生警報(警報)

大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報(注意報)

今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

* 詳細については警報・注意報発生システムとは(国立感染症研究所感染症情報センター)参照
<http://idsc.nih.gov.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide.html>

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (49週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (49週)	全国 (49週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	5	168	18,011	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	12	1	47
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	436	^{(*)3} 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	0	55	4,507	54	3,910
	パラチフス	0	1	20	0	24
四類感染症	E型肝炎	0	1	52	2	70
	A型肝炎	0	1	145	21	316
	デング熱	0	1	86	0	57
	マラリア	0	1	49	0	61
	レジオネラ症	0	7	620	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	0	14	738	8	738
	ウイルス性肝炎	0	2	222	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	4	135	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	91	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	9	1,379	8	1,301
	ジアルジア症	0	1	51	1	87
	梅毒	0	2	673	4	625
	破傷風	0	0	87	1	115
	急性脳炎	0	2	207	1	160

*1: 平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第49週(12/3～12/9) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: E型肝炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 21例
二類感染症: 結核 289例	A型肝炎 2例	クロイツフェルト・ヤコブ病 2例
三類感染症: 細菌性赤痢 4例	つつが虫病 23例	劇症型溶血性
腸管出血性	レジオネラ症 13例	レンサ球菌感染症 1例
大腸菌感染症 23例	レプトスピラ症 1例	髄膜炎菌性髄膜炎 1例
パラチフス 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 14例	ウイルス性肝炎 6例
四類感染症: デング熱 2例	梅毒 5例	急性脳炎 1例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点^{*}から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。^{*}疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第44～49週、10/29～12/9)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	44週	45週	46週	47週	48週	49週	週
	(10/29～)	(11/5～)	(11/12～)	(11/19～)	(11/26～)	(12/3～)	45 46 47 48 49
インフルエンザ	0.38	0.32	0.30	0.94	0.83	1.38	
RSウイルス感染症	0	0	0.09	0	0.13	0.22	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.16	0.19	0.09	0.09	0.22	0.34	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72	0.78	1.09	0.97	1.00	1.19	
感染性胃腸炎	3.19	4.47	6.81	6.63	11.88	15.06	
水痘	0.63	0.78	1.00	0.94	1.78	1.72	
手足口病	0.22	0.22	0.16	0.13	0.13	0.25	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0.03	0.06	0.06	0	
突発性発しん	0.53	0.41	0.53	0.56	0.56	0.47	
百日咳	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.16	0	0.09	0	0	0.03	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.44	0.34	0.47	0.22	0.28	0.28	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0.86	0.29	0	0.14	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.14	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0.29	0.14	0.14	0.71	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	

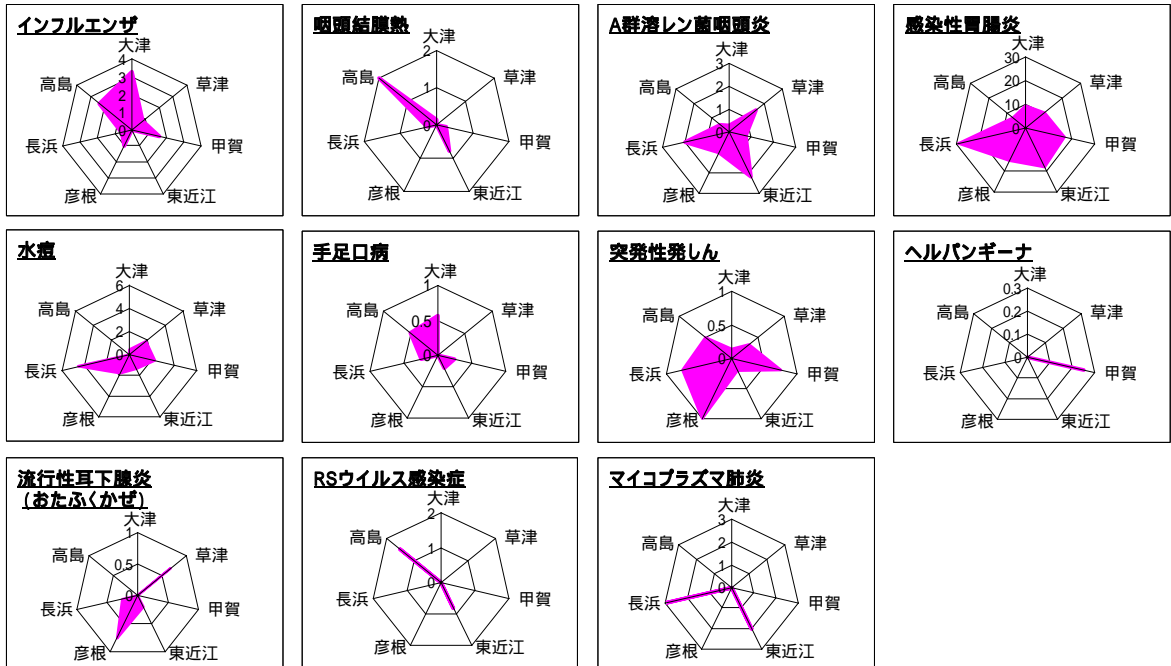
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第49週, 12/3～12/9)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	1.38	3.27	0.80	1.57	0	1.00	0.57	2.33	
RSウイルス感染症	0.22	0	0	0	0.80	0	0	1.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.34	0.14	0	0.25	0.80	0	0.25	2.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.19	0.29	1.50	0.75	2.20	1.00	2.00	0.50	
感染性胃腸炎	15.06	9.57	10.33	17.00	18.40	15.50	29.25	7.00	
水痘	1.72	0.43	1.83	2.25	1.40	1.75	4.50	0	
手足口病	0.25	0.57	0	0.25	0.20	0	0.25	0.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.47	0.14	0.33	0.75	0.20	1.00	0.75	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.28	0	0.67	0	0.20	0.75	0.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.71	0	0	0	2.00	0	3.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中

0 4 8 12 16
定点当たり患者数(人)

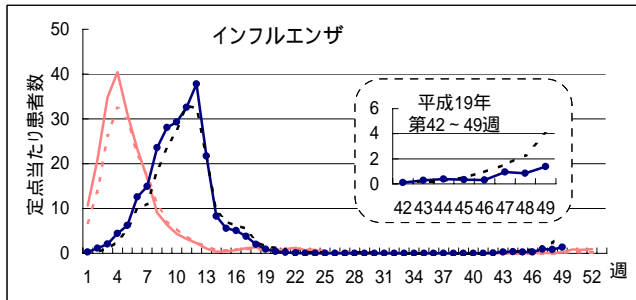
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

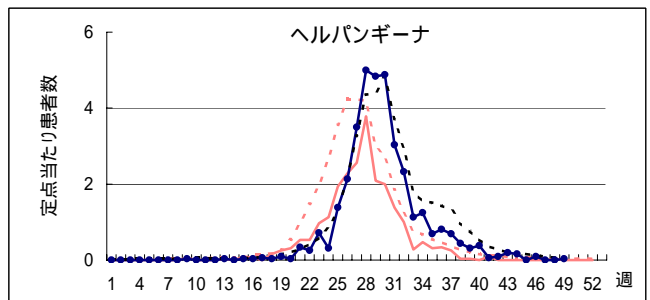
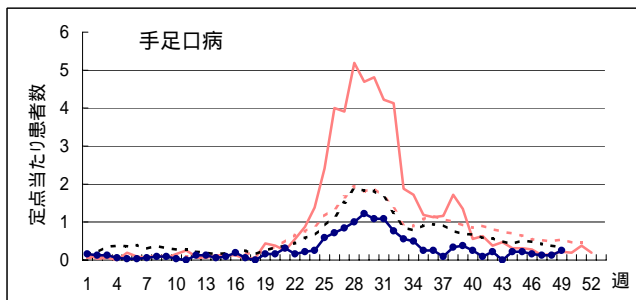
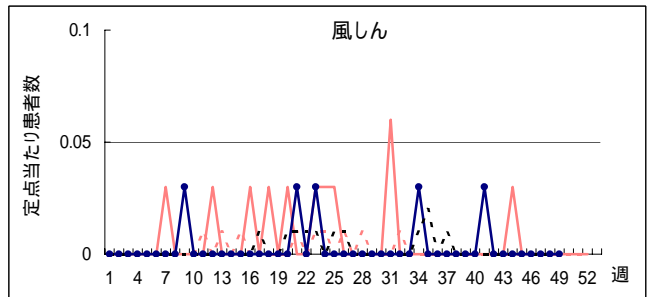
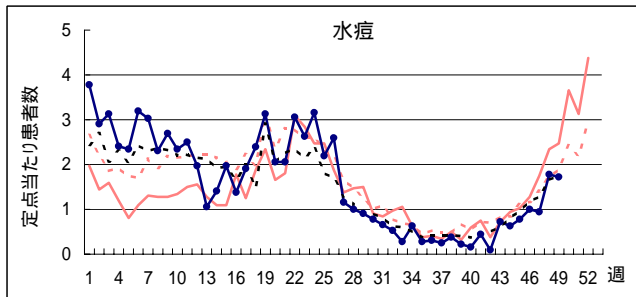
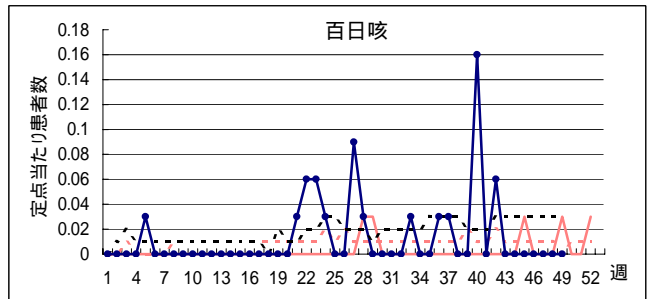
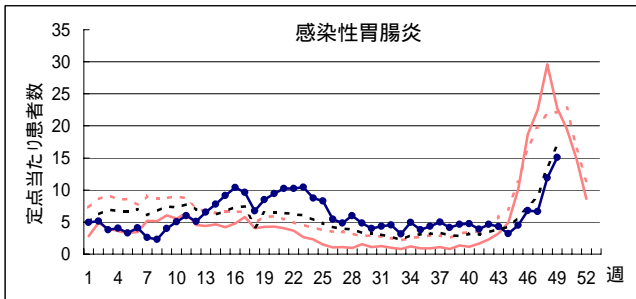
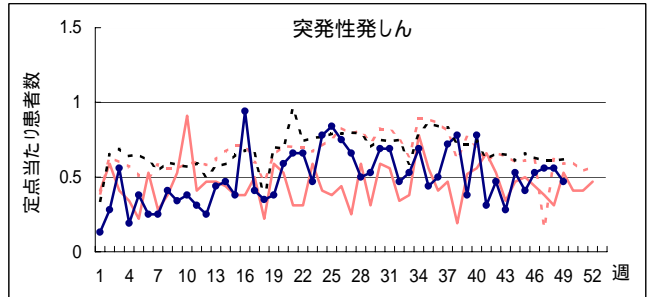
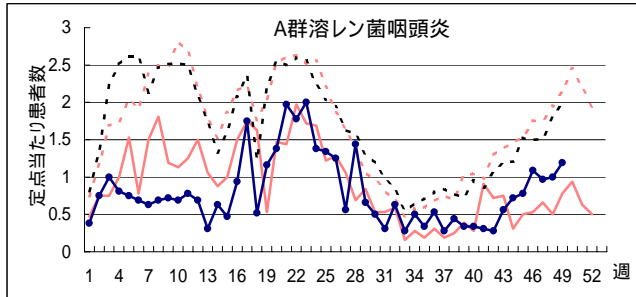
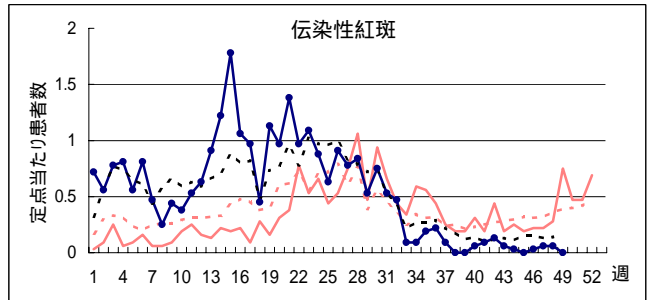
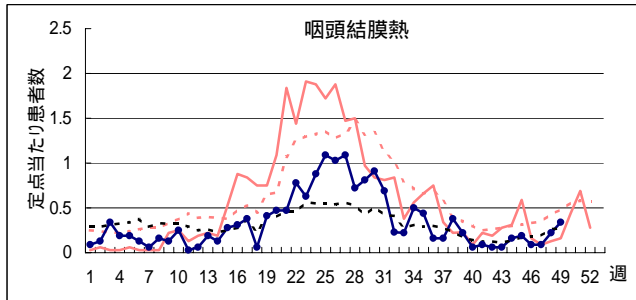
- インフルエンザ-----県全体の定点当たり患者数は1.38となり、流行開始の指標である1.00を超えたためインフルエンザの流行期となりました。大津および高島では先週に引き続き多くなっています。また、甲賀では先週より急増しています。
- 咽頭結膜熱-----高島では先週よりやや少なくなっていますが、警報開始基準値(定点当たり患者数 2.00)を超えているため先週に引き続き警報が発生しています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週よりかなり増加しています。特に、長浜の定点当たり患者数は29.25と非常に多くなり、警報開始基準値(定点当たり患者数 20.0)を超えているため警報が発生しています。
- 水痘-----県全体では先週よりやや減少していますが、長浜では急増しています。長浜の定点当たり患者数は4.50と多くなり、注意報開始基準値(定点当たり患者数4.0)を超えているため注意報が発生しています。

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第49週、H19.1.1～H19.12.9)



H18 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H19 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第49週、H19.1.1～H19.12.9)

H18
 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19
 〔 滋賀 ●—●—●—
 全国 - - - - -

